



2020
環境社会活動報告書

仙台トヨペット株式会社

社 訓

日本一のカーディーラー「仙台トヨペット」で働くプロとして

- 一、 私たちは お客様に感謝し 笑顔・元気・真心をお届けします
- 一、 私たちは 仲間と家族の支えに感謝し 誠心誠意努力します
- 一、 私たちは 自信と誇りを持ち 夢に向かって挑戦します
- 一、 私たちは 清潔で居心地の良い空間を提供します

目 次

トップメッセージ	P. 1
仙台トヨペット CSR 基本方針 ・ 環境方針	P. 2
宮城県の特徴	P. 3
会社概要	P. 4-5
ISO 活動 〈2019 年度・実施計画〉	P. 6
ISO 14001 の取り組み	P. 7-8
緊急事態想定訓練	P. 9
仙台トヨペットに適応される環境法令	P. 10
使用エネルギー及び一般廃棄物排出量の推移	P. 11
産業廃棄物排出量及び処理費用の推移	P. 12
エコ商品販売と業務の効率アップ	P. 13
テクノショップの維持管理活動	P. 14
社会貢献活動〈CSR 活動〉 ・ 環境・社会活動歴	P. 15

本冊子について

本冊子は仙台トヨペット CSR 基本方針及び環境方針に基づいた環境社会活動について記載しています。

【対象期間】 2003 年 4 月～2020 年 7 月

【対象範囲】 仙台トヨペット株式会社、トヨタレンタリース仙台本社及び本社店

【発行日】 2020 年 10 月 1 日（第 15 版）

【初版発行】 2006 年 7 月 31 日

トップメッセージ

環境経営責任者
仙台トヨペット株式会社
代表取締役社長 佐藤 秀之



当社は2003年4月に環境マネジメント「ISO14001」を認証され、企業として環境を意識した取り組みと地域に密着した活動を継続して今年で17年目となります。従来の活動を継続すると共に常に改善を意識して取り組んでまいります。

国内の自動車産業は100年に一度の大変革期に突入したと言われていたのですが、2020年5月より全国のトヨタ販売店がトヨタ車全車種を取扱いする完全併売が始まりました。販売店としても大きな環境の変化であり、自動車業界の変化も想定以上のスピードで進んで行くと思われれます。その環境の変化に対応するためにもお客様に選ばれる会社になる必要があり、そのためにもISO活動と同様に状況を見極めしっかりとした対応を現場に浸透させる迅速かつ質の高い仕事を行う必要があります。

また新型コロナウイルスによる影響で世の中の状況が一変し、生活習慣やビジネススタイルも変化しました。業務の進め方もお客様への提案はWEBを活用し、リモートでの打合せなど変化しています。またマイカーは「密」を避けるパーソナルスペースとしての移動手段として不特定多数の人と接触する公共交通機関よりも安全という考えでクルマを購入されるお客様もいます。

弊社社員は自動車ディーラーのスタッフの役割を自覚して多くのお客様との信頼関係を深める上で、チームプレーによる生産性の向上と仲間への思いやりを持ち、全社員が笑顔と元気、そしてチームプレーで日本一のカーディーラーを目指しています。

当社の本年7月までのISO活動をこの「環境社会活動報告書」にまとめました。これまでの活動をご覧いただき、皆様から忌憚のないご意見をお聞かせいただければ幸いです。これからも「お客様に愛され信頼される会社」を目指し環境活動を継続してまいります。

仙台トヨペット CSR 基本方針・環境方針・企業倫理体系

仙台トヨペット CSR 基本方針

当社は、これから踏み出す「新たな半世紀」を一人ひとりが会社の顔であることを自覚し、人財の名にふさわしい効働と感理で「絶対値で良い会社」を目指してまいります。

一方、人と車に関わる事業活動を通じて、地域社会から信頼され、共に永続的に発展することを目指し、お客様第一主義に徹した商品とサービスを提供するとともに「企業の社会的責任」を果たすため、次の項目を実践してまいります。

- 1 法令の遵守をはじめ、公正・公平で、倫理的に正しい行動を最優先とします。
- 2 良い企業市民として、地域における諸活動への参加をはじめ、広く社会に貢献する活動に積極的に取り組みます。
- 3 地域環境に配慮した事業活動を展開すると共に、資源の有効活用や省エネルギーを推進することにより地球環境の保護に務めます。

環境方針

CSR基本方針に基づき環境管理活動を環境マネジメントシステムに則り、実施していくため下記の事項を定める。

- 1 事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、環境目的・環境目標を定めて、全社員で継続的な環境改善に取り組む。
- 2 環境に関する法律・規制・協定等を遵守し、環境保護レベルの向上を図る。
- 3 環境保護は発生源対策が基本と考え、事業活動の全ての領域で、省資源・省エネルギー・リサイクルの推進を図りCO2の削減と汚染の予防に努める。
- 4 計画的な環境教育および啓発活動により、全社員に環境方針と環境保護を徹底すると共に、環境監査を実施して、環境管理の維持徹底を図る。
- 5 お客さまに車の環境情報を積極的に提供して、低燃費車・低公害車の普及を図る。一方、地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域の環境保護の活動に協力する。
- 6 環境マネジメントシステムを活用し、経営の効率化やコストダウンに役立つ活動を展開する。

企業倫理体系

経営理念

- ・ たゆまぬ革新の精神を持ち先見性と創造力あふれる人財を育成する
- ・ 人を基軸とした自動車サービス事業を総合的に展開する
- ・ 環境に優しく安全で快適な社会づくりに貢献し地域と共に発展する

会社方針(社是)

- ・ 仕事に熱意を持つ
- ・ 社会に対する奉仕と信用を重んじよう
- ・ 社内の融和を計り、正しく明るく生きよう
- ・ 公正な利潤を求め社会的責任を果そう
- ・ 業績の健全な伸長を達成し、会社の発展と社員の生活の向上を計ろう

行動基準

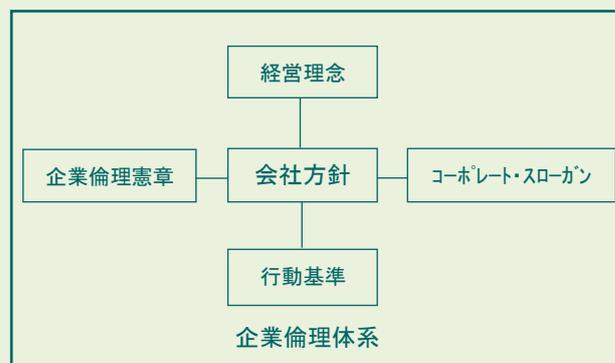
- ・ コンプライアンスを遵守し 正確迅速に業務を遂行する
- ・ 自らの使命 役割 責任を自覚し まっすぐひたむきに努力する
- ・ お客様には真心をもって 珠玉のおもてなしで接する

企業倫理憲章

- 1 法令の遵守をはじめ、公正・公平で倫理的に正しい行動を行う
- 2 良い企業市民として地域における諸活動への参加をはじめ、広く社会に貢献する活動に積極的に取り組む
- 3 自然環境に配慮した事業活動を展開するとともに、資源の有効活用や省エネルギーを推進することにより、地球環境の保護に努める

コーポレート・スローガン

質実剛健経営を推進し、お客様の視点に立った感性豊かな参画者集団を目指す





宮城県の特徴

地勢・気候

宮城県は東北地方南東部に位置し、東は太平洋、西は奥羽山脈、内陸には仙台平野が広がっています。海沿いの中ごろには、260余の島からなる日本三景の一つ 松島があり、また山沿いでは栗駒山や蔵王連峰など秀峰がそびえ、海でも山でも行楽に適した処が数多くあります。気候も太平洋側気候で、夏季は太平洋からの風が入り、冬季も平野部の降雪は少なく、東北の中でも穏やかな気候です。

面積・人口・世帯数

面積： 7,282.3 km² [内仙台市 785.8 km² 10.8%]
 人口： 2,294,793 人 [内仙台市 1,091,588 人 47.6%]
 世帯数： 1,014,619 世帯 [内仙台市 522,227 世帯 51.5%]
 ※2020年7月1日現在 宮城県統計課資料より

文化財・街並み



大崎八幡宮

国宝の本殿は1607年伊達政宗により建立され、絢爛豪華な桃山建築を象徴する最古の建造物です。粋を凝らした社殿の造りは、後に日光東照宮に引き継がれました。



瑞巖寺

平安時代に創建された延福寺を1609年伊達政宗が造営し、寺名を瑞巖寺に改めました。国宝の本堂は、桃山様式を取入れた書院造になっています。



勾当台公園

勾当台の名称は、伊達政宗が寵愛した狂歌師・花村勾当の屋敷があったことに由来しています。江戸時代には仙台藩藩校である「養賢堂」があり、仙台藩の学園の中心地になっていました。



定禅寺通り

江戸時代に伊達政宗が仙台城の鬼門の祈願寺として定禅寺を建立しました。1958年(昭和33年)ケヤキを植樹、仙台市はこのケヤキ並木を50年保存樹林に指定しています。

産業

宮城県は、肥沃な沖積平野が広がる穀倉地帯で「ひとめぼれ」「ササニシキ」などを生産する国内有数の米どころです。また三陸沖には親潮と黒潮の潮目が重なる世界有数の漁場があり、カツオ、サンマをはじめ様々な漁が行なわれ、沿岸では、カキ、ほやの養殖など水産業も盛んな地域です。

工芸品・名産品



仙台堆朱



鳴子こげし



枯露柿(干し柿)



仙台いちご

トヨタ自動車東日本 株式会社



トヨタ自動車東日本
本社宮城大衡工場

トヨタ自動車東日本は、お客様・社会・環境との調和を図りながら、トヨタグループのグローバルビジョン実現の一翼を担っています。大衡工場では、コンパクトカーのエンジン・ハイブリッドユニット・車両の開発を行っており、ヤリスクロス・シエンタ・カローラアクシオ・カローラフィールダーを生産しています。



会社概要



本社全容

社名 仙台トヨペット株式会社

所在地 〒 983-0036 宮城県仙台市宮城野区苦竹 2 丁目 8 番 1 号
TEL 022-232-1111

設立 昭和 31 年 4 月

資本金 14 億 2400 万円

代表者 代表取締役会長 亀井 文行 (カメイ フミュキ)
代表取締役社長 佐藤 秀之 (サトウ ヒデユキ)

	306 億 998 万円 (2019 年度)		
売上高	新車販売台数	7,719 台	前期比 111.1%
	レクサス販売台数	252 台	前期比 111.0%
	U-Car小売販売台数	1,536 台	前期比 88.0%
	サービス売上高	43 億 8437 万円	前期比 102.5%

社員数 464 名 (2020 年 3 月末現在)

事業内容 自動車の販売及び自動車の整備、
自動車部品、用品の販売
レクサス事業
携帯電話等の販売、
各種損害保険、積み立て保険の販売

関連企業

- ・ カメイ 株式会社
- ・ 仙山テクノクラフト 株式会社
- ・ 株式会社 トヨタレンタリース仙台
- ・ 株式会社 ジェームス仙台
- ・ 山形トヨペット 株式会社
- ・ 株式会社 宮城テレビ放送 他



宮城県内 22 店舗

北部ブロック

- ⑯ 古川店 大崎市古川中里 2-9-68
TEL.0229-22-2391
- ⑰ 栗原築館店 栗原市築館藤木 6-33
TEL.0228-22-2651
- ⑱ 登米佐沼店 登米市迫町佐沼字梅ノ木 5-1-13
TEL.0220-22-2146

仙台北ブロック

- ⑧ 八乙女店 仙台市泉区八乙女中央 1-2-1
TEL.022-373-8165
- ⑨ 長命ヶ丘店 仙台市泉区长命ヶ丘 3-30-1
TEL.022-378-6666
- ⑩ 泉インター店 仙台市泉区泉ヶ丘 2-1-1
TEL.022-346-7277
- ⑪ 大和大衡店 黒川郡大和町吉岡まほろば 1-2-1
TEL.022-345-5501

東部ブロック

- ⑫ 塩釜店 多賀城市下馬 5-4-38
TEL.022-362-6326
- ⑬ 石巻店 石巻市大街道西 1-2-39
TEL.0225-95-0126
- ⑭ レクサス CPO 石巻 石巻市大街道西 3-1-5
TEL.0225-25-7280
- ⑮ 気仙沼店 気仙沼市本郷 10-11
TEL.0226-22-5770

仙台中央南ブロック

- ① 本部 仙台市宮城野区苦竹 2-8-1
TEL.022-232-1111
- ② 本社 仙台市宮城野区苦竹 2-8-1
TEL.022-232-1116
- ③ 仙台中央店 仙台市青葉区木町通 2-3-1
TEL.022-272-1000
- ④ 車画廊一番町 仙台市青葉区一番町 1-1-41
TEL.022-726-6033
- ⑤ 長町インター店 仙台市太白区郡山 4-12-15
TEL.022-247-1100
- ⑥ 西多賀店 仙台市太白区鉤取字向原前 1-5
TEL.022-244-1000
- ⑦ 宮城野中古車センター 仙台市宮城野区日の出町 1-1-1
TEL.022-232-1110
- ⑧ レクサス宮城野 仙台市宮城野区苦竹 2-7-15
TEL.022-283-1000

南部ブロック

- ⑲ 名取パーク店 名取市田高字沢目 63-1
TEL.022-384-1000
- ⑳ 岩沼店 岩沼市末広 1 丁目 3-10
TEL.0223-22-1511
- ㉑ 大河原バイパス店 柴田郡大河原町字新南 55-3
TEL.0224-52-3301
- ㉒ 白石蔵王店 白石市福岡長袋字坂下 24-1
TEL.0224-25-3512



ISO活動 〈2020 実施計画〉

自動車業界全体の共通の課題として「外部・内部の課題」「利害関係者のニーズ及び期待」「リスク及び機会」を考慮した当社の「環境目標」を策定し達成のため「実施計画」の取り組みを進める。

実施計画(A)改善活動		
リスク及び機会		
環境目標	実施事項	
・作業事故削減	・サービス本部の巡回指導 ・トレーナー研修による意識啓蒙	
・交通事故削減	・公安委員会による社内講習 ・本部の巡回指導 ・本社集合研修による意識啓蒙	
・CS改善	・本部職制参加の店舗CS改善全員ミーティング	
著しい環境側面(有益)		
環境目標	実施事項	2019年度実績
・新車直販下取率の向上【本部取組】 * 直販下取り率 70%以上	・テリ内管理顧客フォローによる査定定義管理及び拠点個別指導 ・新車下取支援による代替促進、小売在庫の確保	△ 57.0%
・部品返品率の低減【本部取組】 * 発注件数の 0.6%未満	・拠点の返品状況把握と指導 ・部品業務改善拠点の拡大	△ 0.6%
・紙使用量の削減【本部取組】 * 前年より 3%削減	・各拠点の紙使用量削減取組み	△ 2.2%削減
・1・6 無点の 100%入庫 * 入庫率 90%以上	・i-CROP-Jの管理で担当スタッフへの勧告、指導	○ 100.3%
・新車スマイルパスポートの推販 * 個人販売の 80%以上	・スマイルパスポート加入実績の把握及び個別指導 ・スマイルパスポート加入に応じた販促支援	△ 76.7%
・整備車両の再修理の低減 * 整備台数の 0.15%未満	・再修理の傾向把握とサービス会議・トレーナー会議時再発防止教育 ・再修理報告時、タイムリーな再発防止の拠点指導	○ 0.03%
・電力使用量の削減 * 前年より 5%削減	・サービス入庫の平準化による作業効率化を推進 ・空調・照明節減に向け、利用時間を設定し通知	○ 5.6%削減
実施計画(B)管理活動		
リスク及び機会		
環境目標	実施事項	
・働き方の変革	・残業時間管理	
・EMS 構成員の突然の退職による技術伝承不足	・力量保持教育	
著しい環境側面(有害)		
環境目標	実施事項	
・近隣住民増加による配慮	・近隣訪問によるコミュニケーション ・定期的な環境騒音の測定	
・有害物・産廃物の管理	・重点管理設備点検	
順守義務		
環境目標	実施事項	
・指定整備の適正運営の管理	・社内業務規程に基づいた作業の徹底	

ISO14001 の取り組み

重点管理設備の維持管理

コロナ禍の影響を受け、拠店訪問を制限し、通常 6 月に本部監査員全員で実施する内部環境監査に代わり、7 月に ISO 推進事務局による全拠店を対象とした重点管理設備の維持管理状況確認を実施、全拠店の管理状況に問題ないことを確認しました。

主な確認事項



油水分離槽(西多賀店)
分離槽内の汚れ



油水分離槽(長町インター店)
汚水路の流出防止手順



廃油地上タンク(岩沼店)
タンク・防油堤の状態



廃油地下タンク(西多賀店)
マンホール内の結露



廃油地下タンク(大和大衛)
検知管による点検



灯油タンク防油堤(古川店)
排水コックの状態(閉栓)



緊急ボックス(気仙沼店)
備品内容



新油バルクタンク(古川店)
新油(計 1000L)保管状況



油脂庫(古川店)
落下防止柵の状態



門型洗車機(長町インター店)
洗車機汚水路の污泥堆積状態



エアコンプレッサー(泉インター店)
オイル交換、フロン簡易点検実施日



産廃物置場(西多賀店)
産廃物分別状況

緊急事態想定訓練

拠店現場の特徴にあわせ、緊急事態を想定し有害物を敷地の外に出さないよう訓練を実施しています。緊急時に充分に対応できる様、実際の訓練では作業手順、緊急ボックス備品について検証し、改善を重ねています。



スタッフ全員で学科研修
緊急時の対応手順を確認



状況を再現して実地訓練
オイルに見立て水を流す



流れる方向を確認する
水と比べ実際のオイルの流れは遅い



マット・オイルフェンスでオイルを吸着
備品内容が充分であることを検証する



土嚢を詰め水路を遮断
予防措置をとり確実に流出を止める



最良の手順となるよう改善を重ねる
作業手順書に反映する

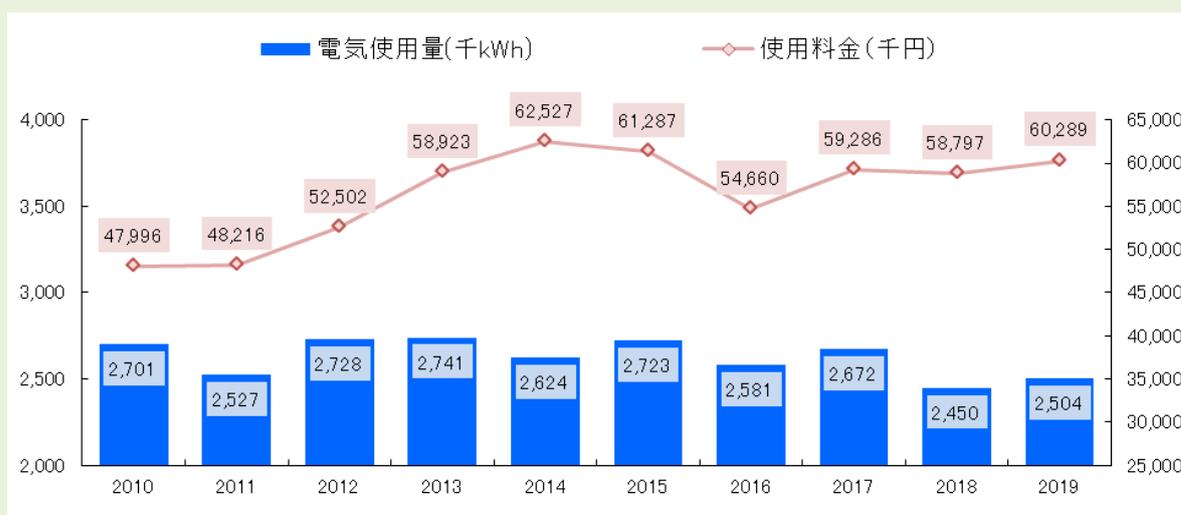
仙台トヨペットに適應される環境法令

環境法令とは、環境の維持・改善活動を行うにあたり、順守しなければならない法規制や条例等を指します。

環境側面	関係する法律・条例等	当社の対応
騒音・振動	騒音・振動規制法 宮城県公害防止条例	・特定設備の設置を所轄官庁に届出 * エアコンプレッサー7.5kW以上 ・6ヶ月毎自主的に騒音測定を実施し近隣の生活環境に配慮
水 質	水質汚濁防止法 宮城県公害防止条例	・排水基準に適合した水質の管理（油水分離槽の管理） ・3ヶ月毎（門型洗車機非設置拠店は6ヶ月毎）の水質測定を実施
	浄化槽法	・浄化槽の設置を所轄官庁に届出 ・定期保守点検及び年1回の清掃と水質の測定
	宮城県簡易給水施設条例	・貯水槽水道（受水槽）を所轄官庁に届出 ・委託業者による年1回の点検、清掃及び水質の測定
産業廃棄物・ 廃シンナーの排出	廃棄物の処理及び清掃に 関する法律	・産廃物の収集業者・中間処分業者との委託契約及び現地確認 ・産廃マニフェストの交付及び管理 ・産廃マニフェストの交付状況を年度ごと所轄官庁へ報告 ・水銀使用製品産業廃棄物の分別保管及び分別廃棄
トルエン・キシレンの 排出	PRTR 法	・SDS（安全データシート）の入手、保管 ・PRTR法対象物質の特定化学物質の排出量・移動量を年度で所轄官庁へ報告
新油・廃油・塗料・ シンナーの保管	消防法 火災予防条例	・少指定数量比0.2以上1.0未満の保管場所は、少量危険物取扱所の届出 ・法令に定める地下タンクの定期点検（設置15年以上は年1回）
資源エネルギーの 使用	省エネ法	・全社合計の使用エネルギー（電気・LPガス・都市ガス・灯油）の把握 ・CO ₂ 削減の活動と合わせ使用エネルギーを削減
	建築物省エネ法	・300㎡以上の増改築後、床面積2000㎡を超える場合、適合性判定を実施 ・300㎡以上の増改築後、床面積2000㎡未満の場合、届出を実施
使用済自動車の排出	自動車リサイクル法	・使用済自動車引取業者の登録 ・電子マニフェスト移動報告の適正管理
消防設備の管理	消防法	・消防設備の設置を所轄の消防署長へ届出 ・防火管理者の選任、消防設備の点検報告
指定整備の適性運営	道路運送車両法	・指定自動車整備事業者として東北運輸局長に届出 ・道路運送車両法に基づく確実な整備作業と法の遵守 ・保安基準適合証の交付実績を年2回報告
レンタカーの貸渡	道路交通法 道路運送車両法	・レンタカーの使用者、運転者に対する整備不良車の運転禁止の義務付け ・レンタカーの安全性の確保、公害防止に必要な点検整備の実施 ・貸渡実績を年度で宮城運輸支局長に報告
受電設備の管理	電気事業法	・委託業者による受電設備の毎月の点検及び年度における 総合点検の実施
フロン機器の管理	フロン排出抑制法	・フロンを使用する特定製品において簡易点検・定期点検を実施し、 冷媒の漏洩を予防・管理する
その他	労働安全衛生法 ビル衛生管理法 食品衛生法 土壌汚染対策法 建築リサイクル法 食品リサイクル法 家電リサイクル法 等	

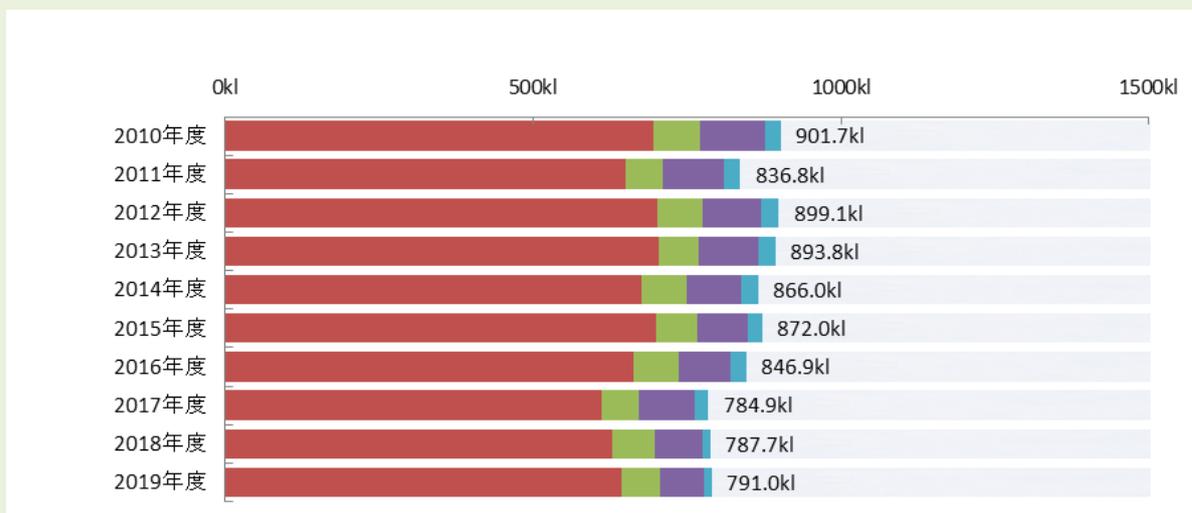
使用エネルギー及び一般廃棄物排出量の推移

電気使用量



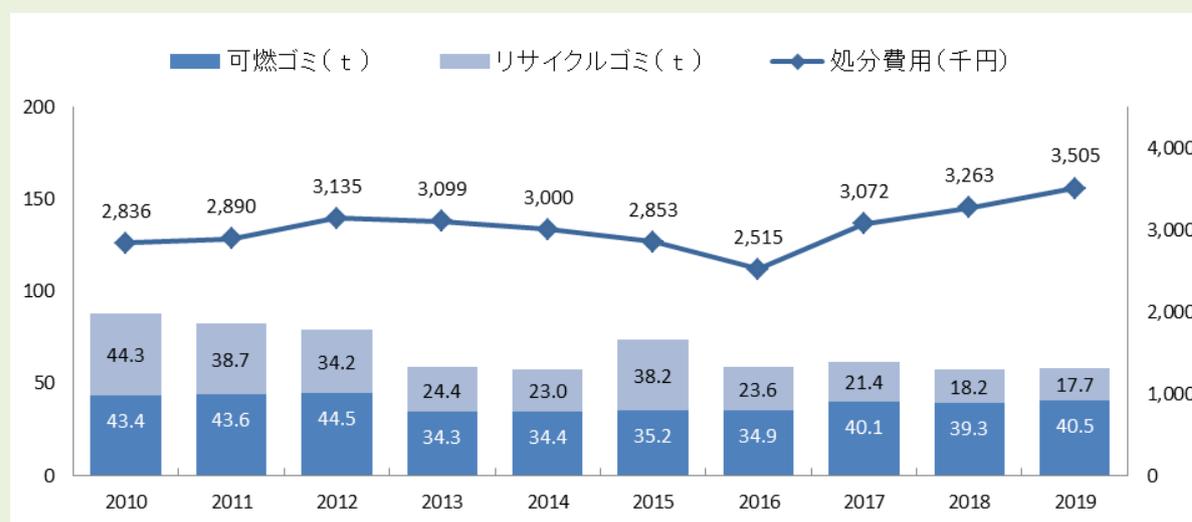
・古川店では、自家使用ソーラーパネルを設置、太陽光発電によりCO₂の削減に貢献します。
 ・全拠店にEV(電気自動車)急速充電器を設置、一般のお客様にもご利用いただいております。

エネルギー使用状況



・2019年度全拠店使用エネルギー原油換算値は791.0kl、省エネ法規制事業者の対象外です。

一般廃棄物(可燃+リサイクルゴミ)



・一般廃棄物の分別、排出量の計測を実施し、ごみ削減とリサイクルに配慮しております。

産業廃棄物排出量及び処理費用の推移

金属くず・廃プラ



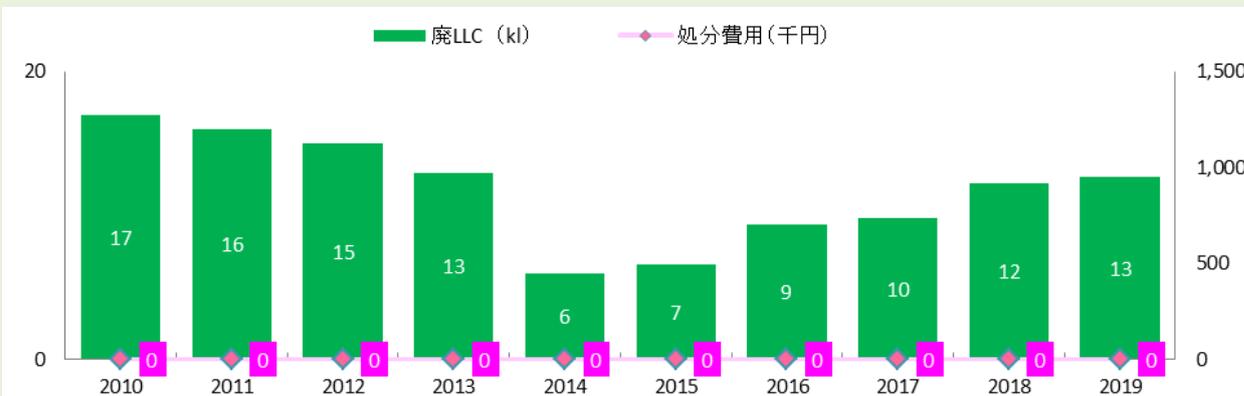
・金属くず・廃プラの排出量は減少しましたが、廃プラ処分料の値上げにより処分費用は増加しております。

廃油



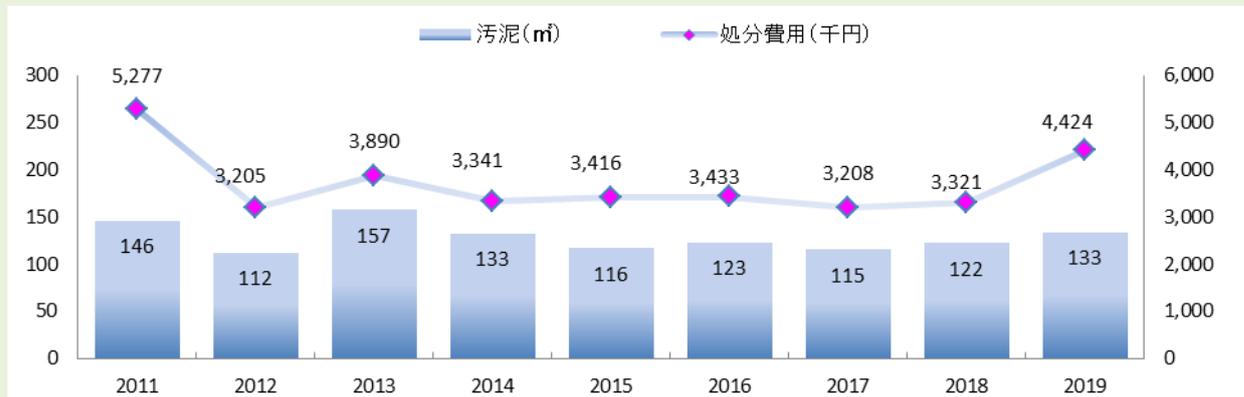
・スマイルバスポート推販により加入ユーザーが増加、エンジンオイルの定期交換により廃油量が増えていると考えられます。
・廃オイルは、主に再生重油としてリサイクルされています。

廃LLC



・長寿命スーパーLLCの採用により交換サイクルが延び、交換廃棄量が減少しています。
・LLC主成分のエチレングリコールは、代替工業用水に加工され再利用されています。

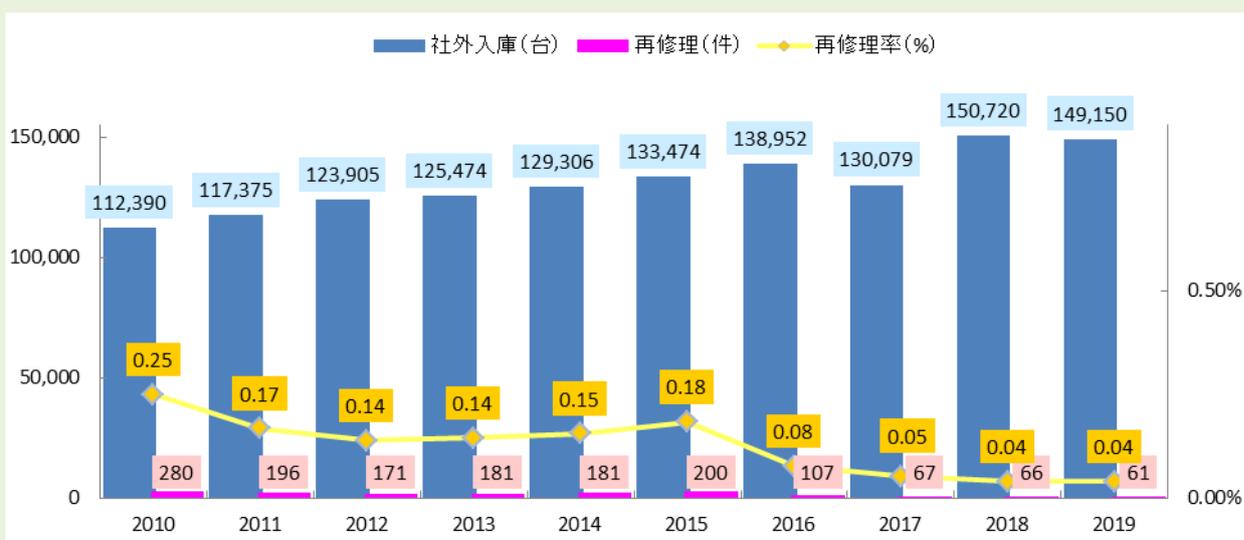
汚泥



・油水分離槽はウィークリーチェックにより管理し、定期的に汲み上げにより、汚泥の堆積をコントロールしています。

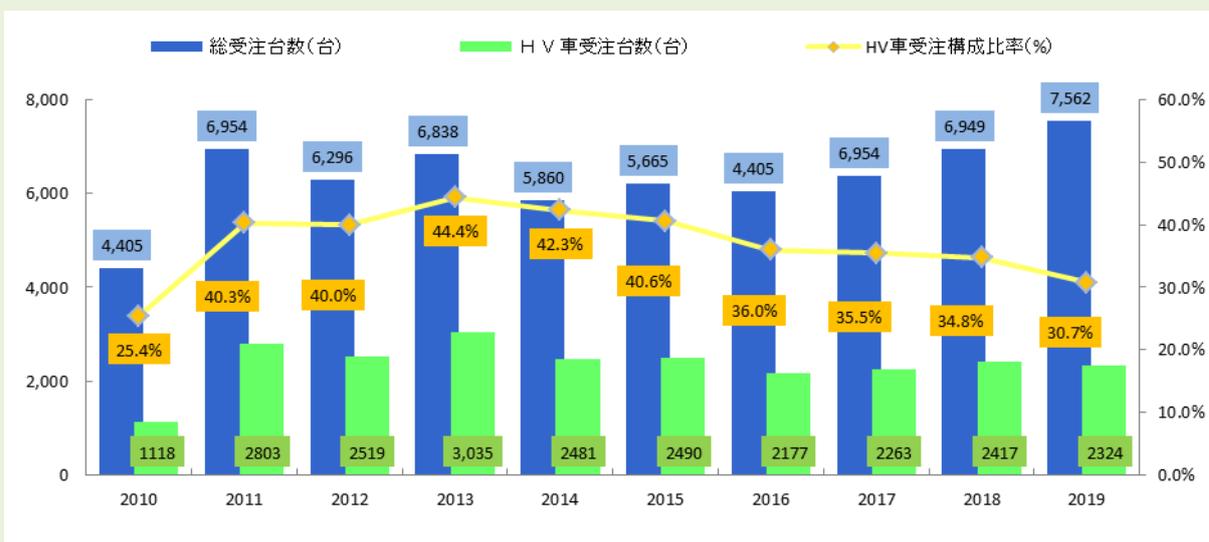
エコ商品と業務の効率アップ

再修理率の低減



- ・再修理の傾向を把握、再発防止の店舗指導を行っています。
- ・中間検査及び最終検査の徹底により再修理の低減を図っています。

ハイブリッド車受注構成比の向上



- ・ハイブリッド車のラインナップ、グレードが数多く投入され選択肢が増えたことにより、構成比で推移しています。

サービスエンジニア残業時間の短縮



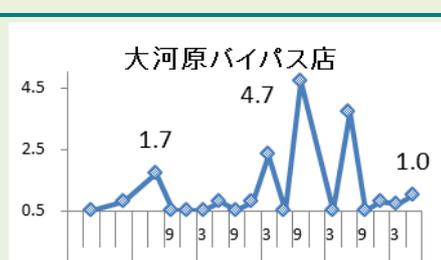
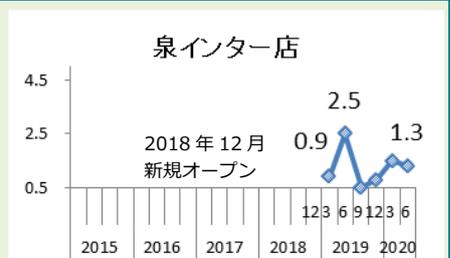
- ・効率を考慮した入庫スケジュール管理を定着させ、残業削減に取り組んでいます。

テクノショップの維持管理活動

◇油水分離槽水質調査

門型洗車機設置拠点 16 拠店は 3 か月毎、その他 3 拠店は 6 ヶ月毎
外部機関による水質検査を行い、数値トレンド及び変動要因を分析し、
ウィークリー点検により、環境基準をクリアしています。

※単位:縦軸(mg/L)



社会貢献活動 〈CSR 活動〉

「オイスカ」名取市海岸林再生プロジェクト

東日本大震災の津波により被災した海岸林再生のため、エンジンオイル交換売上の一部より毎月寄付を行っており今年で8年目の寄付活動となります。
また、現地での育林ボランティアはコロナ禍の影響を受け、今年度は参加を控えています。



100ha の育林事業を 2033 年まで継続



以前の松林に戻るまで 50 年を要する

「パピヨングリーン基金」活動（2019年6月、2020年3月）

ハイブリッド車の販売毎に基金を積立、毎年、県内自治体にハイブリッド車を寄贈しております。2019年度は、加美町、丸森町へ公用車を寄贈、2008年活動開始以降県内自治体へ20台を寄贈しております。



佐藤社長 加美町猪股町長



丸森町保科町長 佐藤社長

環境・社会活動歴

活動歴・主な出来事			備考
2003年	H15	ISO14001 第1回環境委員会開催	ISO 推進室 設置
2004年	H16	ISO14001 初回審査	宮城県カーディーラー初、ISO14001 認証取得 塩釜店、西多賀店
2005年	H17	ISO14001 拡大審査 「仙台国際ハーフマラソン大会」協賛	本社店、西多賀店、塩釜店、栗原築館店、白石蔵王店、トヨタレンタリース仙台本社及び本社店 地元協賛企業として宮城県オート30販売店が大会運営車両提供を開始
2006年	H18	ISO14001 拡大審査	東北・北海道カーディーラー初、ISO14001 全拠店認証取得
2007年	H19	「パピヨングリーン基金」設立 ISO14001 更新審査(1回目)	基金設立、県内自治体にHVを寄贈 本社、長町インター、長命ヶ丘、登米佐沼、大河原バイパス、レクサス宮城野
2008年	H20	岩手・宮城内陸地震	最大震度6強、マグニチュード7.2
2010年	H22	「日本の蔵王 ヒルクライム・エコ」協賛 ISO14001 更新審査(2回目)	蔵王エコラインで開催の自転車ロードレースに伴走車を協賛 本社店、仙台中央店、石巻店、栗原築館店、大河原バイパス店
2011年	H23	東日本大震災	最大震度7、マグニチュード9.0
2012年	H24	「オイスカ海岸林再生プロジェクト」協力	NGO オイスカ「東日本大震災復興海岸林再生プロジェクト」に参加
2013年	H25	ISO14001 更新審査(3回目)	本社店、西多賀店、塩釜店、古川店、登米佐沼店、大河原バイパス店
2014年	H26	仙山テッククラフト棟竣工	名取パーク店サイトより分離することを環境委員会にて承認
2016年	H28	ISO14001 更新審査(4回目)	本社店、八乙女店、名取パーク店、古川店、栗原築館店、気仙沼店
2018年	H30	ISO14001:2015 年規格移行審査	新規格による運用開始
2019年	H31	ISO14001 更新審査(5回目)	ISO14001:2015 規格移行後、初の更新審査
2020年	R 2	ISO14001 定期審査	ISO14001 活動取組み 18年目



仙台トヨペット株式会社

<http://www.p-sendai.co.jp/>

お問い合わせ先 … 仙台トヨペット株式会社 ISO・CSR 推進室 TEL 022-232-1143